

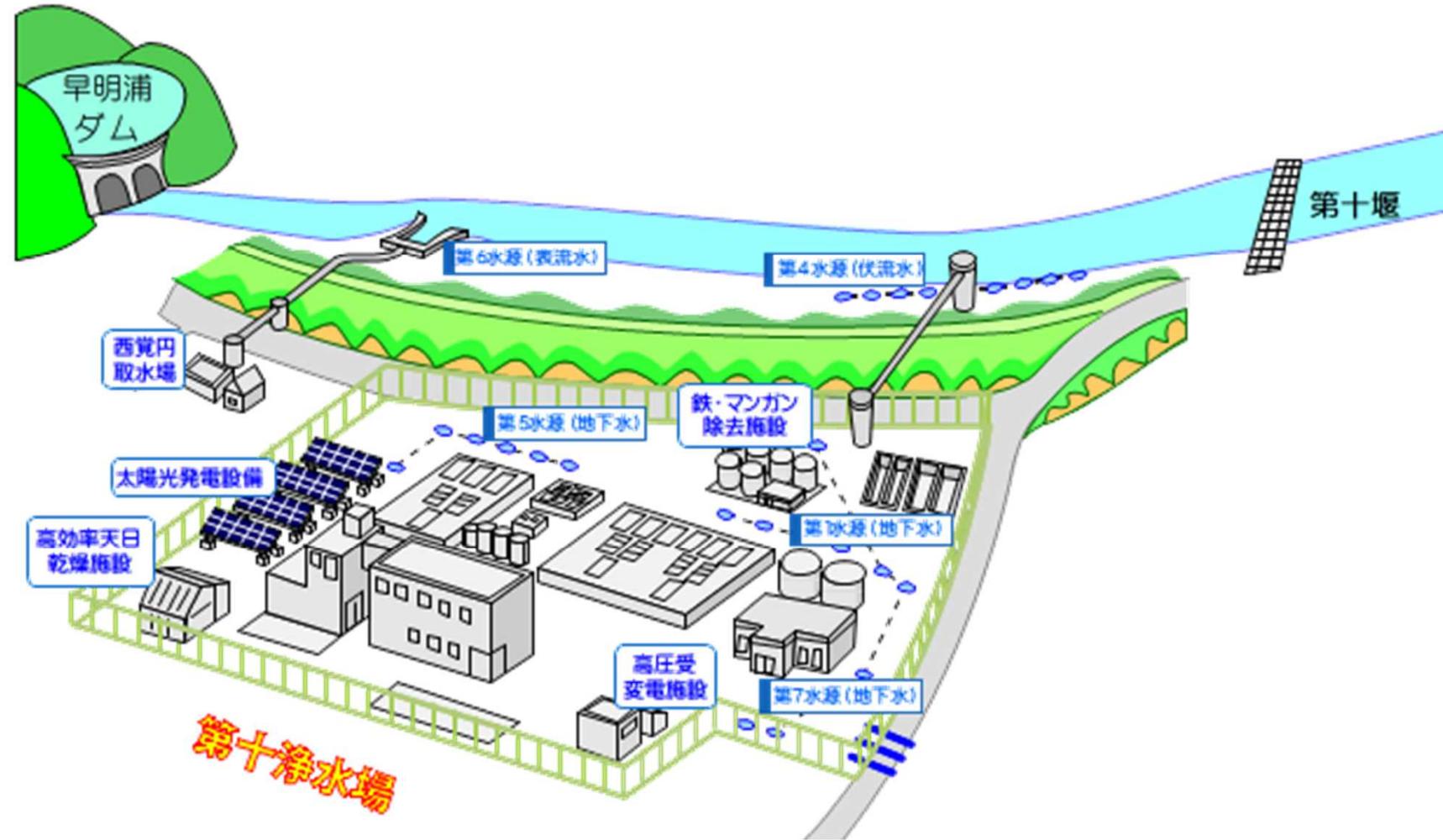
水道施設の展望について



令和6年10月25日
徳島市上下水道局

主な水源の浄水量

水 源		浄水施設能力
第1水源	地下水	予備水源
第2水源	地下水	2,600
第3水源	地下水	4,140
第4水源	伏流水	40,000
第5水源	地下水	13,200
第6水源	表流水	94,050
第7水源	地下水	15,000
浄水量		168,990m³



徳島市の水道施設利用率（令和4年度末）

水 源		浄水施設能力
第1水源	地下水	予備水源
第2水源	地下水	2,600
第3水源	地下水	4,140
第4水源	伏流水	40,000
第5水源	地下水	13,200
第6水源	表流水	94,050
第7水源	地下水	15,000
浄 水 量		168,990m ³

施設利用率

施設能力に対する一日平均配水量の割合を示すもので、水道施設の効率性を表します。

(計算式) (一日平均配水量/施設能力)×100

R5年度一日平均配水量（石井町含む） 89,226m³

施設能力

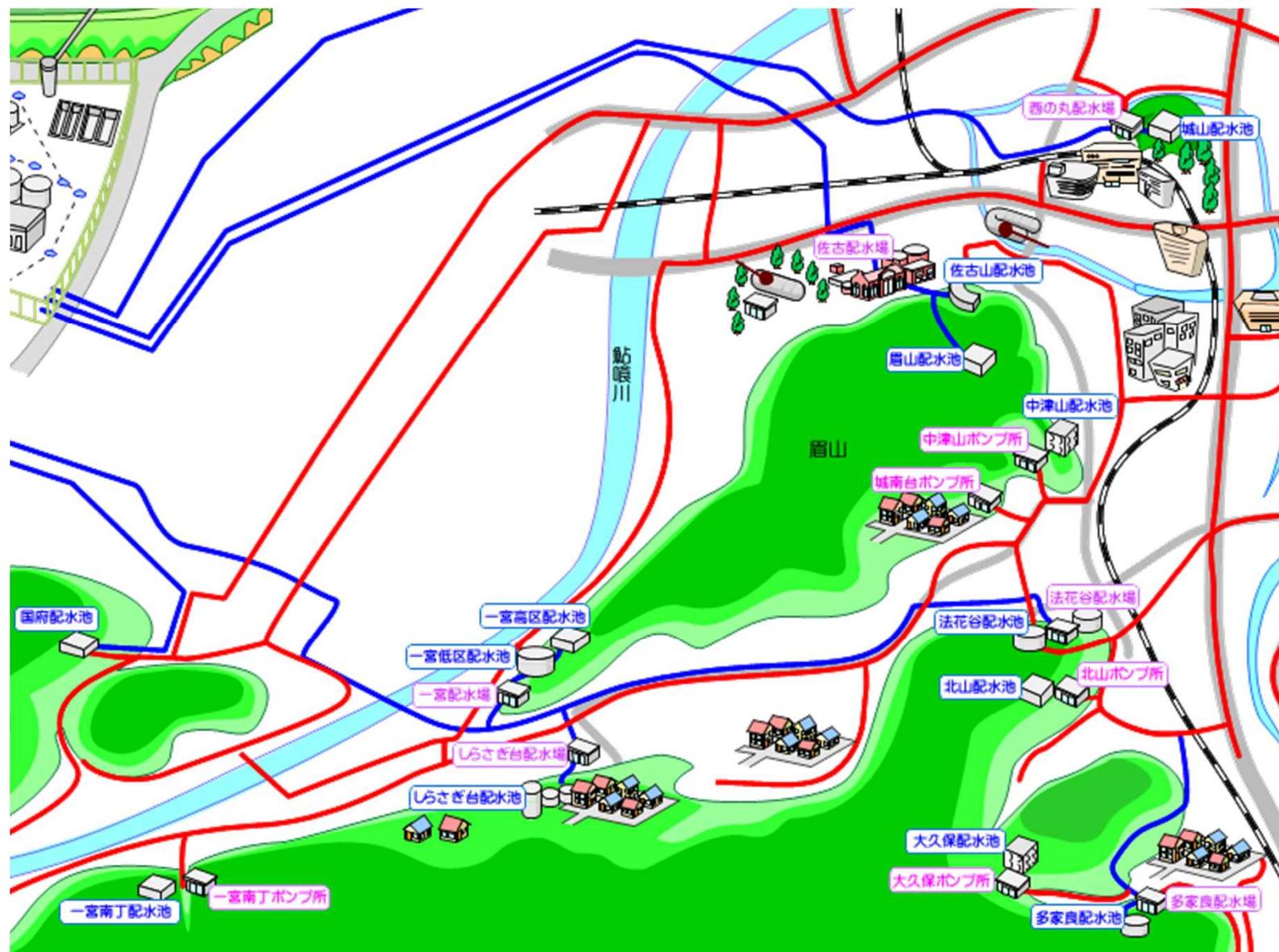
168,990m³

令和4年度 施設利用率 53.9

年 度	令和2年度	令和3年度	令和5年度
施設利用率	54.6	53.8	52.8

主な配水池の有効容量

名称	施設	有効容量(m ³)
第十浄水場	1系浄水池	4,000
	2系浄水池	4,000
	西の丸系浄水池	3,600
佐古配水場	調整池	5,000
佐古山配水池	配水池	4,200
西の丸配水場	調整池	11,000
城山配水池	配水池	5,000
国府配水池	配水池	6,500
法花谷配水場	配水池	10,000
	調整池	10,000
一宮配水場	高区配水池	1,320
	低区配水池	5,600
	受水池	750
しらさぎ台配水場	調整池	1,200
しらさぎ台配水池	高区配水池	115
	低区配水池	623
	低区配水池	391
多家良配水場	配水池	1,900
	受水池	160



徳島市の配水池有効容量（令和4年度末）

配水池貯留能力

一日平均配水量に対する配水池有効容量の割合を示すもので、給水に対する安定性を表します。

（計算式）配水池有効容量/一日平均配水量

R5年度一日平均配水量81,781m³

配水池有効容量 75,995m³

令和4年度 配水池貯留能力 0.91

名称	施設数
浄水池	3
配水場	6
配水池	13
受水池	5
配水池有効容量 75,995.40m³	

年度	令和2年度	令和3年度	令和5年度
配水池貯留能力	0.89	0.91	0.93

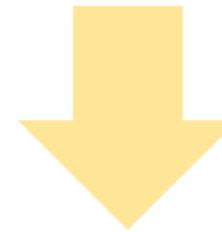
水道ビジョン2019



水道ビジョン2019

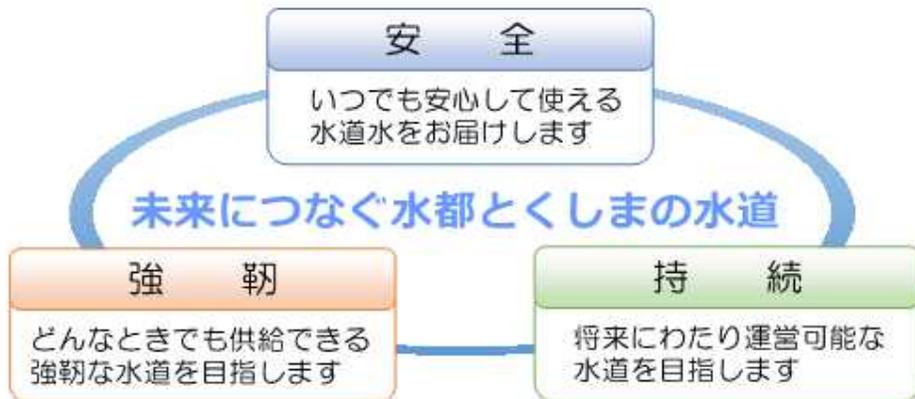
今後目指すべき方向性（将来像・目標）を整理し、目指すべき方向性に沿った**今後10年間の投資・財政計画と合わせて、取り組むべき施策**について整理したもの

計画目標年度2028年（令和10年度）



第4水源の予備水源化

佐古山配水池（4,200m³）の廃止
しらすぎ台調整池（1,200m³）の廃止



水道ビジョン2019

計画目標年度2028年（令和10年度）

水 源		浄水施設 能 力
第1水源	地下水	予備水源
第2水源	地下水	2,600
第3水源	地下水	4,140
第4水源	伏流水	予備水源
第5水源	地下水	13,200
第6水源	表流水	99,000
第7水源	地下水	15,000
浄水量		
168,990→128,990m³		

名 称	施 設	有効容量(m ³)
第十浄水場	1系浄水池	4,000
	2系浄水池	4,000
	西の丸系浄水池	3,600
佐古配水場	調整池	5,000
佐古山配水池	配水池	廃止
西の丸配水場	調整池	11,000
城山配水池	配水池	5,000
国府配水池	配水池	6,500
法花谷配水場	配水池	10,000
	調整池	10,000
一宮配水場	高区配水池	1,320
	低区配水池	5,600
	受水池	750
しらさぎ台配水場	調整池	廃止
しらさぎ台配水池	高区配水池	115
	低区配水池	623
	低区配水池	391
多家良配水場	配水池	1,900
	受水池	160

名 称	施 設 数
浄水池	3
配水場	6 → 5
配水池	13 → 12
受水池	5
配水池有効容量	
75,995→70,595m³	

徳島市の水道施設利用率（令和10年度末予測）

水 源		浄水施設能力
第1水源	地下水	予備水源
第2水源	地下水	2,600
第3水源	地下水	4,140
第4水源	伏流水	予備水源
第5水源	地下水	13,200
第6水源	表流水	94,050
第7水源	地下水	15,000
浄水量		128,990m ³

施設利用率

施設能力に対する一日平均配水量の割合を示すもので、水道施設の効率性を表します。

(計算式) (一日平均配水量/施設能力)×100

一日平均配水量（石井町含む） 84,740m³
施設能力 (168,990m³)→128,990m³

令和10年度 施設利用率(予測) 65.7

年 度	令和4年度	令和10年度
施設利用率	53.9	50.1→65.7

徳島市の配水池有効容量（令和10年度末予測）

配水池貯留能力

一日平均配水量に対する配水池有効容量の割合を示すもので、給水に対する安定性を表します。

（計算式）配水池有効容量/一日平均配水量

一日平均配水量 **77,893m³**
配水池有効容量 **(75,995m³)→70,595m³**

令和10年度 配水池貯留能力(予測) **0.91**

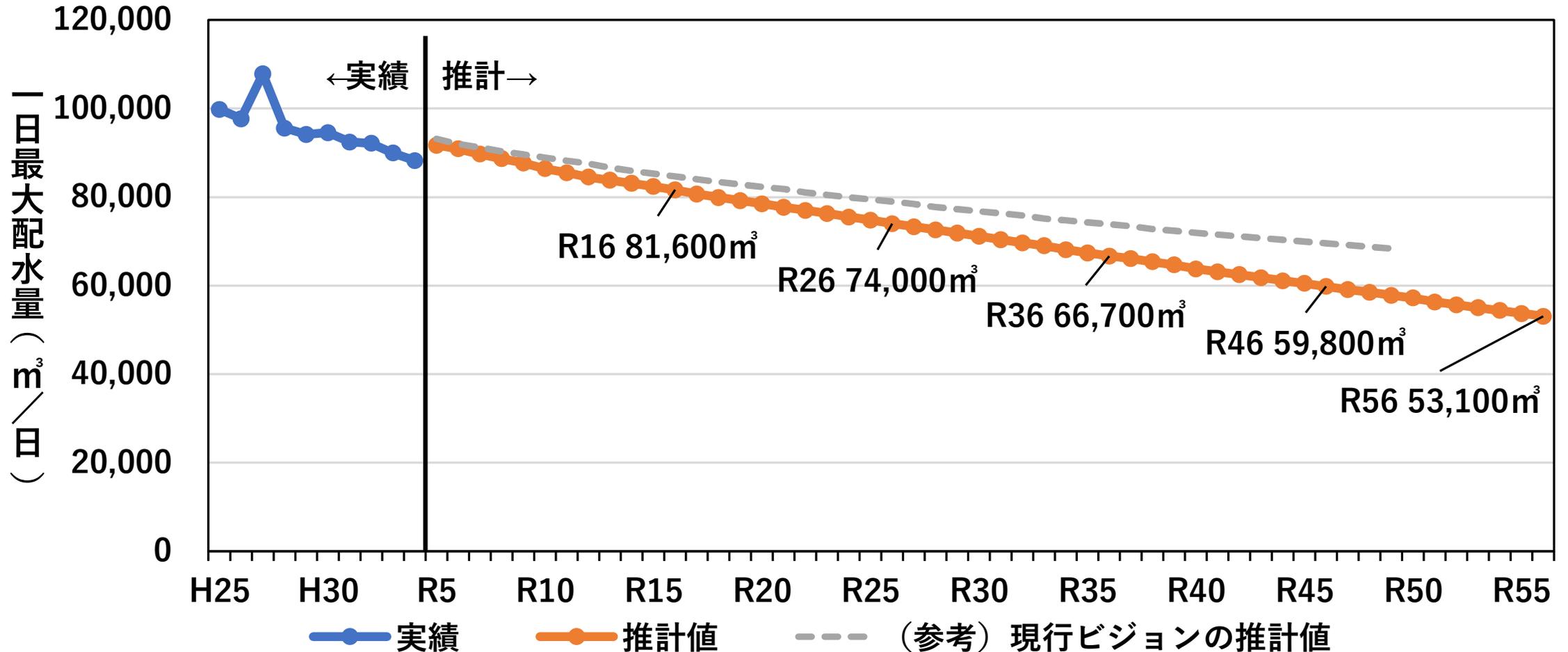
名称	施設数
浄水池	3
配水場	6→5
配水池	13→12
受水池	5
配水池有効容量 70,595m³	

年度	令和4年度	令和10年度
配水池貯留能力	0.91	0.98→0.91

水需要予測

参考：徳島市水道事業経営戦略（素案）

2074（令和56）年度の1日最大給水量の予測値は、53,100m³/日（石井町への浄水分を除く）と予測



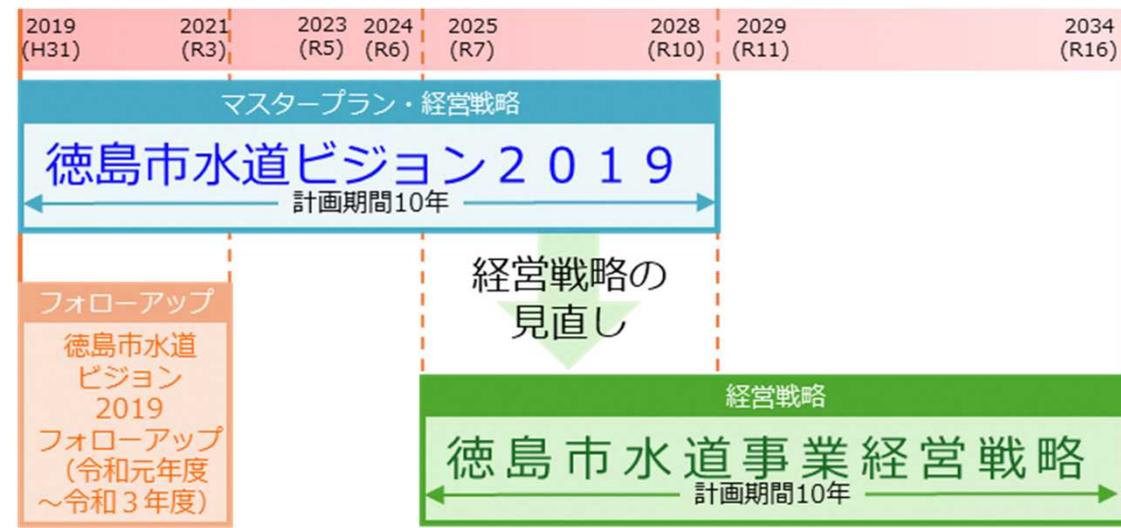
徳島市水道事業経営戦略2025-2034（素案）



年 度	令和4年度	令和10年度	令和16年度
1日平均給水量(m3) (石井町含む)	91,065	84,740	80,088
1日平均給水量(m3)	83,593	77,893	73,603

年 度	令和4年度	令和10年度	令和16年度
施設利用率	53.9	50.1	47.3
施設利用率 (ビジョン適用)	53.9	65.7	62.0

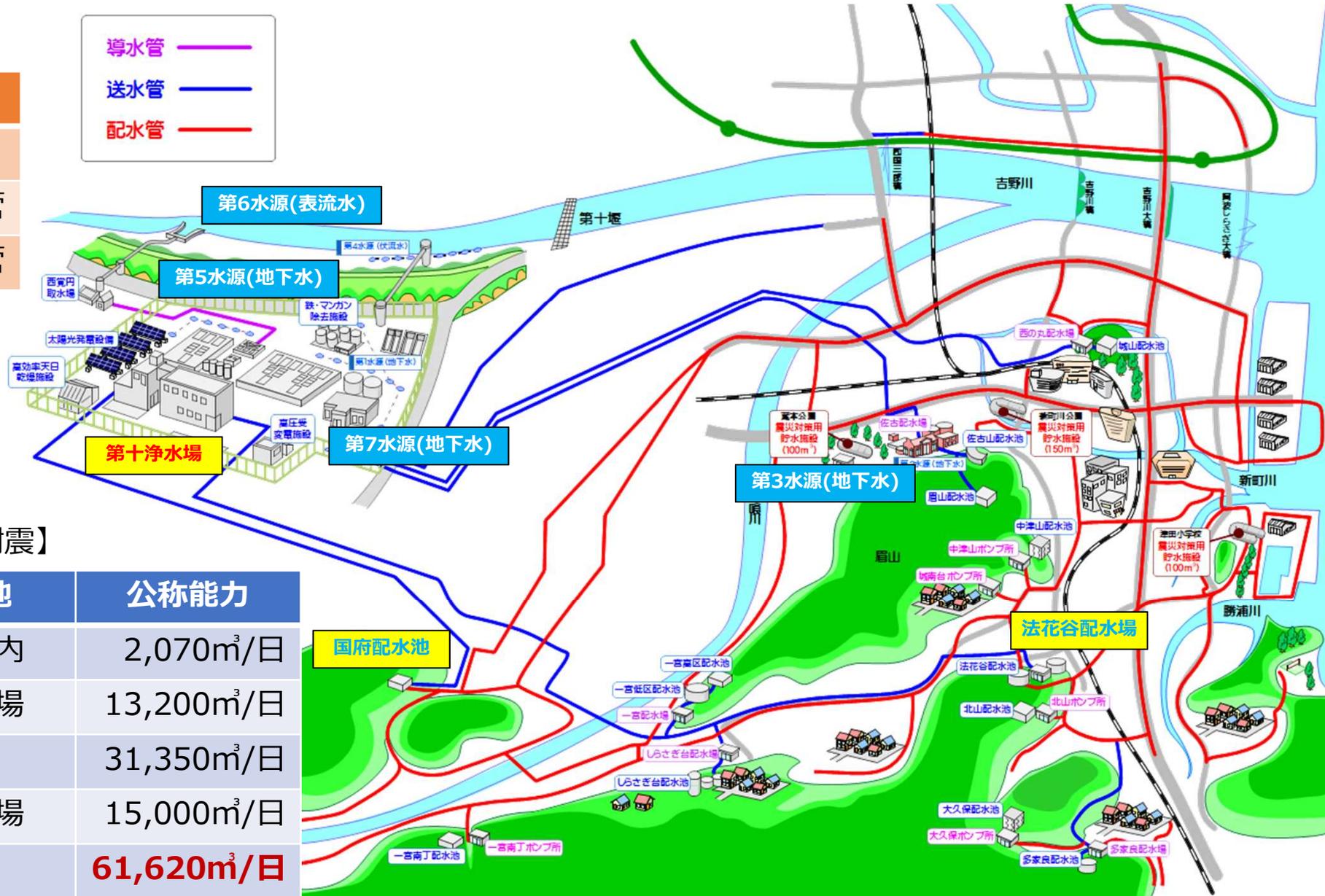
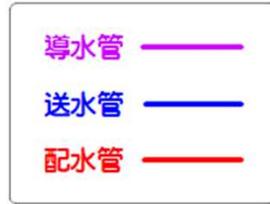
年 度	令和4年度	令和10年度	令和16年度
配水池貯水能力	0.91	0.98	1.03
配水池貯水能力 (ビジョン適用)	0.91	0.91	0.96



南海トラフ地震からの応急復旧目標

◆特に重要な施設

施設	管路
第十浄水場	応神系送水管
法花谷配水場	法花谷系送水管
国府配水池	国府系送配水管



◆地震時にも取水可能な水源【耐震】

水源	種別	所在地	公称能力
第3水源	地下水	県立公園内	2,070m ³ /日
第5水源	地下水	第十浄水場	13,200m ³ /日
第6水源	表流水	吉野川	31,350m ³ /日
第7水源	地下水	第十浄水場	15,000m ³ /日
			61,620m³/日

浄水施設の将来像

1日平均給水量（徳島市）

令和34年 61,406m³

28年後

地震時にも取水可能な水源

水源	種別	場所	浄水方法	公称能力 (m ³ /日)
第2水源	地下水	佐古配水場内	塩素消毒	2,600
第3水源	地下水	県立公園内	塩素消毒	2,070 ← 4,140
第4水源	伏流水	吉野川河川敷	鉄・マンガン除去 + 塩素消毒	40,000
第5水源	地下水	第十浄水場内	塩素消毒	13,200
第6水源	表流水	吉野川河川敷	凝集沈殿+急速ろ過+塩素消毒	31,350 ← 94,050
第7水源	地下水	第十浄水場内	塩素消毒	15,000
計				61,620 ← 168,990

※上記以外に、予備水源として第1水源（地下水）がある。

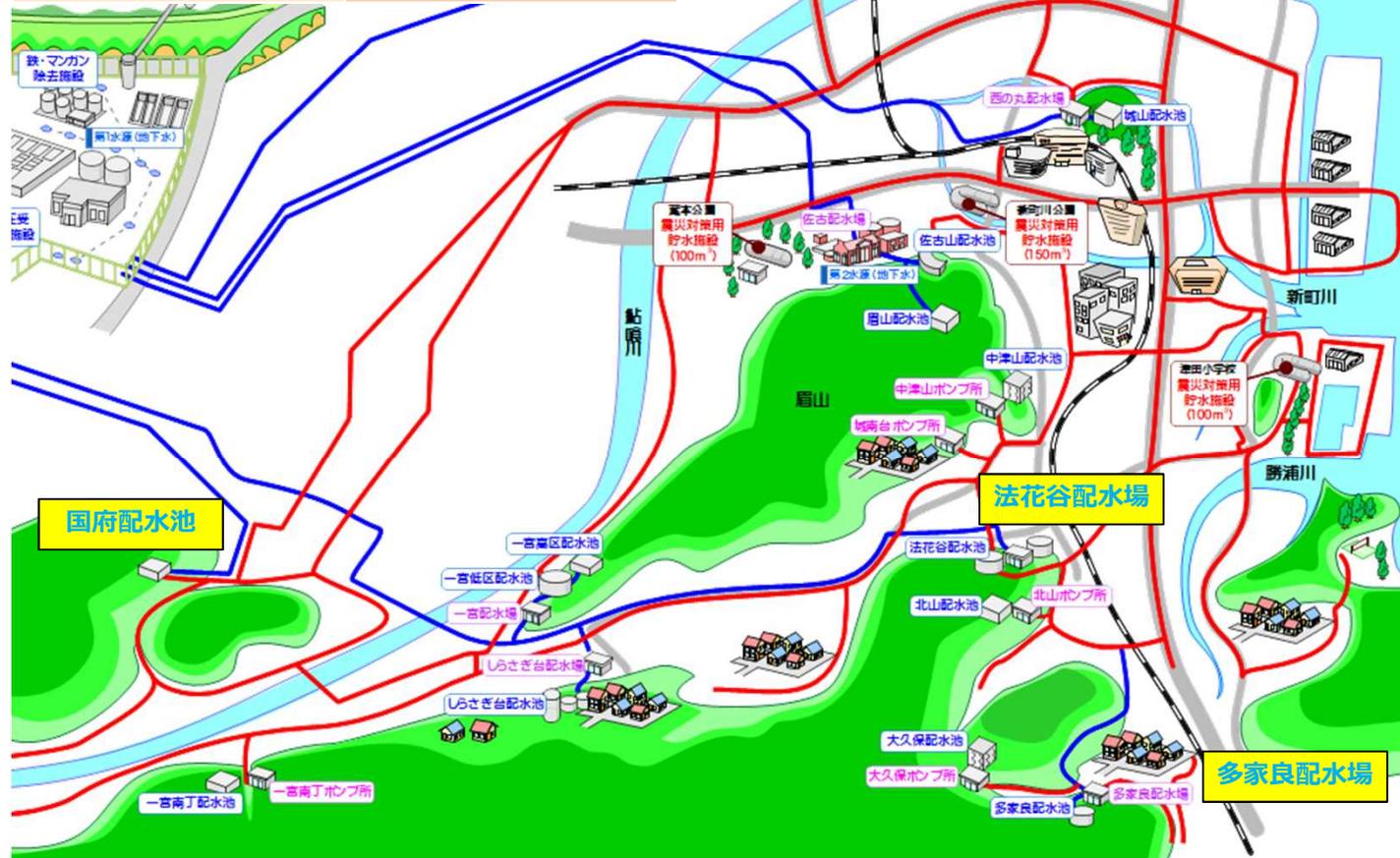


配水施設の将来像

名称	施設	有効容量(m ³)
第十浄水場	1系浄水池	4,000
	2系浄水池	4,000
	西の丸系浄水池	3,600
佐古配水場	調整池	5,000
佐古山配水池	配水池	4,200
西の丸配水場	調整池	11,000
城山配水池	配水池	5,000
国府配水池	配水池	6,500
法花谷配水場	配水池	10,000
	調整池	10,000
一宮配水場	高区配水池	1,320
	低区配水池	5,600
	受水池	750
しらすぎ台配水場	調整池	1,200
しらすぎ台配水池	高区配水池	115
	低区配水池	623
	低区配水池	391
多家良配水場	配水池	1,900
	受水池	160

◆特に重要な施設

施設	管路
第十浄水場	応神系送水管
法花谷配水場	法花谷系送水管
国府配水池	国府系送配水管



ご清聴ありがとうございました

